

1 プロのeスポーツ選手とは

プロのスポーツ選手って、 どんな人？

そもそも「プロのスポーツ選手」とは、“そのスポーツをプレーすることで、お金を稼いでいる人”だといえます。

野球やサッカーといったプロスポーツの世界では、プロ野球球団やJリーグチームなどのプロチームに所属して、そのチームから給料などをもらっている選手ののことをいいます。彼らは野球やサッカーなどの競技をプレーすることで、チームから給料などの形でお金を稼いでいることになります。

このように、“プレーをすることで、お金を稼ぐ”のが、プロである、という定義はeスポーツの世界にも当てはまります。

また、テニスやゴルフのように、チームに所属するのではなく、個人で、試合に出て賞金を獲得したり、スポンサーの支援を受けたりするなどして、プロとして活動する場合もあります。

eスポーツのプロ選手

eスポーツでも、個人でスポンサーの支援を受けていたり、賞金が出る大会に出場

して、好成績をおさめて賞金をもらったりするなどの方法で収入を得ているプロのeスポーツ選手がいます。テニスやゴルフのプロ選手と同様です。

またeスポーツでも、チーム戦で行われる種目も多くあります。そして、そうしたチーム単位で、企業などがスポンサーとして資金や運営などに関わっているものもあります。力のあるeスポーツ選手は、このようなチームに所属することで、報酬を得る場合があります。きちんと報酬を得られるチームに所属することで、プロeスポーツ選手だといえることができます。

いずれにしろ、個人であれ、団体・チームであれ、eスポーツをプレーすることで、お金を稼ぐ人をプロ選手だと定義するのなら、ここで説明したような方法で収入を得ている人たちがeスポーツのプロ選手ということになるでしょう。

けれども、その一方でこれまでeスポーツでは、プロ野球球団やJリーグチームのような統一的な組織がなかったこともあり、eスポーツに関わることでなんらかの収入を得ている選手だけでなく、たとえ収入を得られなくても、自分でプロだと宣言している選手も、プロ選手とみなされていました。

JeSUによって、日本でプロ ライセンス制度がはじまる

2018年に設立された日本eスポーツ連合（JeSU）では、関係機関との話し合いなどを経て、JeSU公認プロライセンスというものを発行しています。

前項では、“eスポーツのプロとは、eスポーツをプレーすることで、お金を稼げ

る人”、あるいは自分で“プロ”と宣言した人と定義しましたが、JeSU公認のプロライセンスの場合は、あくまでも「JeSUがプロライセンスを付与したかどうか」ということが基準であり、eスポーツのプレーによって収入を得ているかどうかは基準ではありません。

「JeSU公認プロライセンス規約」では、公認プロライセンスを次のように定義しています。

JeSU 公認プロライセンス規約

JeSU公認プロライセンスとは、JeSUが別途公認する大会において当該大会規約に基づき好成績を収め、競技性、興行性ある大会等へ出場するゲームプレイヤーとしてプロフェッショナルであるという自覚を持ち、スポーツマン

シップに則り、国内eスポーツの発展に寄与し、ゲームプレイの技術の向上に日々精進することを誓約する者で、ライセンス取得に相応しいと判断された者に対して、本規約2における種別に応じて発行されるものをいう。

つまり、JeSUの公認する大会で好成績をおさめ、JeSUがプロライセンスを発行するにふさわしい選手（チーム）だと認められた場合に、プロライセンスが発行されるのです。

プロスポーツの世界においては、それぞれのスポーツ（野球・サッカー・ゴルフ・テニスなど）ごとに、統一的な機関・団体などが存在しています。

ところがeスポーツは、ここ最近、急速に人気が出てきたスポーツであるため、プロの定義などもいろいろでした。

しかし、JeSUが統一的な団体として活動するようになり、公認プロライセンスを発行するようになったことで、今後は統一的なプロの定義が浸透していくことでしょう。そして、プロeスポーツの世界も、

プロ野球やプロサッカー、プロテニスなどと同じように発展していくことが期待されています。



eスポーツで産業振興と 魅力度アップを

(1) 国体をきっかけにして、 eスポーツで地域振興を!!

2019年の「いきいき茨城ゆめ国体」に合わせて、文化プログラムとしてのeスポーツ大会「全国都道府県対抗eスポーツ選手権 2019 IBARAKI」が開催されたことは、第1巻で説明しました。

■国体関連の全国イベントとしては初のeスポーツ大会(写真提供:茨城県)

「eFootball ウイニングイレブン 2020」で熱戦が繰り広げられた。



eFootball ウイニングイレブン 2020 ©konami Digital Entertainment

このこと自体も、新しい取り組みですが、茨城県では、1回だけのイベントにしてしまうのではなく、茨城県自体の継続的な取り組みとして、eスポーツを取り上げることになっています。その名も「いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト」です。

県内の企業や、大学などの教育機関、行政機関なども巻き込んで、eスポーツを普及させ、茨城県自体の魅力アップにつなげようとしています。

(2) 地元サッカーチームとの連携で イベントを開催

茨城県では、具体的な取り組みのひとつとして、水戸市などをホームタウンとするサッカーチーム「水戸ホーリーホック」が主催する「水戸ホーリーホック eスポーツチャレンジカップ」の開催が企画されるなど、地元のプロスポーツチームも巻き込んだ盛り上がりを見せています。

(3) 産学官の連携で eスポーツを盛り上げる

2019年の国体後にできた「いばらきe

スポーツ産業創造プロジェクト推進協議会」は、地元企業や大学などの教育機関、さらに行政機関などに参加してもらい、茨城県でeスポーツを通じた産業振興・地域振興を進めています。

まさに産学官の連携です。

推進協議会では、2020年から『いばらきeスポーツアカデミー』というイベントを複数回開催し、県内の企業関係者などを対象として、eスポーツに関する理解促進に努めています。企業関係者の関心も高く、茨城県の活性化が期待されています。

■eスポーツを通じた産業振興に取り組む茨城県(写真提供:茨城県)

eスポーツに対する企業の関心も高い。



およぶよ eスポーツ ©SEGA